

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
3 -	循環型社会の形成を推進する	環境部

所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
1人1日当たりのごみ排出量(年間)	g	871	850	831			856
ごみの資源化率	%	25.4	26.4	25.5			26.6

令和2年国勢調査の確定数に基づき再計算し、「853g」から「850g」に修正します。

関連事業

ごみの減量化・資源化促進事業 食品ロス削減・フードバンク活動支援事業 可燃ごみ戸別収集
拡充事業

決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費(千円)	6,065	5,814		
執行率(%)	87.70	94.32		

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進」

ごみ通信の発行やWEBでのごみに関する情報提供のほか、市民団体への助成等を通じて、コロナ危機にあっても各地区の自主的な取組を促進し、ごみの減量化、資源化を推進しました。

「食品ロス削減、フードバンク活動の支援」

市庁舎でのフードドライブの実施や市民提案型協働事業により構築した食品ロス対策WEBシステムの運用開始に伴うフードバンクの事業案内等の活動を支援することで、食品ロス削減に努めました。

「可燃ごみの戸別収集」

市全域での可燃ごみの戸別収集の実施に向け、令和3年4月から市内3地区(夕陽ヶ丘地区の一部、立野町地区の一部、大神地区の一部)で戸別収集の本格実施を開始し、10月には市内3地区(夕陽ヶ丘を全域、立野町を全域、追分)を拡大しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進」 ごみの減量化や資源化に向け、市民や事業者に対する一層の啓発が必要です。</p> <p>「食品ロス削減、フードバンク活動の支援」 食品ロス対策WEBシステムの利用や市民・事業者からの支援の増加を図り、フードバンク活動を安定的かつ持続的なものにする必要があります。</p> <p>「可燃ごみの戸別収集」 市民の負担軽減、責任の明確化による減量化・資源化に向けて、可燃ごみ戸別収集の対象地区を段階的に拡大していく必要があります。</p>	<p>「ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進」 ごみに関する情報提供や啓発等を行うことにより、減量化及び資源化に向けた市民の自主的な取組を促進します。また、多量排出事業者への減量化計画書の提出等を通して、適正排出の徹底を促します。</p> <p>「食品ロス削減、フードバンク活動の支援」 PR活動のほか、商工会議所や地元金融機関との連携を進め、フードバンク活動に対する市民や事業者の理解を深めていきます。</p> <p>「可燃ごみの戸別収集」 令和3年度に続き、収集体制等の検討を進め、可燃ごみ戸別収集の対象地区を更に拡大します。</p>